

確認受付番号

申請地

中間検査申請日

年

月

日

木質系組立構造

申請者

中間検査日

年

月

日

中間検査チェックシート（木造3階建て・桝組壁工法）

【特定工程が屋根工事の場合】

検査項目	内 容	検査日付		検査機関用				
		施 工 者	監 理 者	検査方法 A：目視検査 B：計測検査 C：監理者報告	結果		修正 月日	
					一次 良否	二次 良否		
敷地	1	敷地の形状、方位の確認			A・B・C			
	2	接道長さ、道路幅員の確認			A・B・C			
	3	敷地の高低差の確認			A・B・C			
	4	支持地盤の耐力の確認			A・C			
	5	擁壁の設置状況の確認			A・B・C			
基礎	1	コンクリート、鉄筋、アンカーボルトの材質の確認			A・C			
	2	種類（布、べた、その他）の確認			A・B・C			
	3	形状、寸法の確認			A・B・C			
	4	配筋の確認			A・B・C			
	5	位置の確認、アンカーボルト（Cマーク表示品） 耐力壁の両端のたて桝の下部に近接した位置、隅角部、土台の継手及び土台切れの箇所、それ以外の部分においては、間隔2.0m以内の位置			A・B・C			
	6	床下換気孔又はこれに替わるものの確認			A・B・C			
土台	1	材質の確認 土台が基礎と接する前には、防水紙、防湿フィルム（ポリエチレンフィルムの厚さ0.1mm以上）を敷く等の防腐措置			A・C			
	2	形状、寸法の確認 寸法形式204、206、208、404、406又は408の製材			A・B・C			
	3	位置の確認 土台の幅は、下桝の幅と同寸以上			A・B・C			
	4	隅部、T字部の仕口又は継手の位置、接合方法・状況の確認			A・B・C			
	5	防腐・防蟻措置の確認（工場処理による防腐・防蟻処理材）			A・C			
床桝組	1	材質の確認			A・C			
	2	形状、寸法の確認 寸法形式206、208、210又は212の製材を縦使いし、床根太相互の間隔は650mm以内			A・B・C			
	3	位置の確認			A・B・C			
	4	継手の位置、接合方法・状況の確認			A・C			
	5	床下張り（床根太、構造用合板等による）の確認 構造用合板は、表面繊維方向が床根太方向と直交、パーティクルボード及び構造用パネルは、長手方向が床根太方向と直交			A・C			
	6	防腐・防蟻措置の確認			A・C			
壁桝組	1	材質の確認			A・C			
	2	形状、寸法の確認 耐力壁の下桝、上桝、たて桝及び頭つなぎは、寸法形式204、206、208又は404、406、408の製材			A・B・C			
	3	位置の確認 外周部の主要な隅角部及び引抜き応力が大きいたて桝は、接合金物（ホールダウン金物等）で基礎と緊結 耐力壁の幅はその高さの1/3以上			A・B・C			
	4	耐力壁直下の床根太を構造耐力上有効に補強の確認			A・C			
	5	継手の位置、接合方法・状況の確認			A・C			
小屋組	1	材質の確認			A・C			
	2	形状、寸法の確認 たる木、天井根太は寸法形式204、206、208、210又は212の製材、相互の間隔は650mm以上			A・B・C			
	3	位置の確認			A・B・C			
	4	振止めの設置の確認			A・B・C			
接合部	1	基礎と土台（アンカーボルトの位置、接合状況の確認）			A・B・C			
	2	基礎と両端たて桝（ホールダウン専用アンカーボルトの位置、接合状況の確認）			A・C			
	3	両端たて桝と土台（接合方法・状況の確認）			A・C			
	4	両端たて桝と両端たて桝（接合方法・状況の確認）			A・C			
	5	たる木又はトラス（緊結方法・状況の確認）			A・B・C			
	6	屋根葺き材（緊結方法・状況の確認）			A・C			
不具合の処理及び検査結果、工事全般の考察								
添付図書								

検査担当者氏名